

出前講座 「いつか来るその時に ～わが街の防災力をみつめよう～」

- 開催日時：平成28年2月21日（日）13時30分から15時30分
- 開催場所：盛岡市河南公民館・盛岡劇場
- 参加者：河南地区の住民の皆様 13名
- 講師：岩手河川国道事務所 調査第一課長 山影修司

平成28年2月21日（日）、盛岡市河南公民館・盛岡劇場において出前講座を開催し、河南地区の町内会関係者を中心とした住民の皆様13名が参加しました。

この出前講座は、盛岡市河南公民館が主催する「防災講座」の一環として開催され、当事務所調査第一課の山影課長がアドバイザーとして出席しました。

第一部では、盛岡市玉山区災害対策協議会の佐々木会長から、平成25年9月16日に県内を襲った台風18号で大きな被害を受けた盛岡市玉山地区の取り組み状況を報告し、その後、第二部として当事務所調査第一課の山影課長のほか盛岡市危機管理防災課からも参加をいただいて、「各町内会で取り組み地域の防災対策について考える」というテーマで座談会形式で行いました。

当事務所からは、地上デジタル放送による河川情報の提供について説明し、ご家庭のテレビでdボタンを押すだけで各地域毎の最新の雨量情報、水位情報が分かることを紹介しました。次に避難判断水位やはん濫危険水位の意味について説明し、併せてハザードマップを見る際の注意事項についても説明しました。

参加者からは、

「避難勧告は誰が判断し、どうやって住民に伝えているのか」

「逃げる際、気をつける事を教えて欲しい」

「垂直避難でマンションに逃げる場合もあるので、町内会からではなく公的機関からマンションの管理組合に『災害時にはマンションを使わせて欲しい』旨、働きかけて欲しい」などの質問・意見が出され、近年多発する自然災害の報道もあって、洪水に対してとても関心が高い様子で、熱心に聴講していました。

また、「マンションの防災対策は町内会では関与しにくい。」との課題も出され、都市部特有の難しい課題に、会場内で問題意識を共有しました。

今日の出前講座を通して、地域における自主防災活動の活発化と地域の防災力向上の一助となれば幸いです。

国土交通省岩手河川国道事務所では、随時出前講座を開催しております。
お気軽にお問い合わせ下さい。



調査第一課 山影課長による説明



熱心に聞く盛岡市河南地区町内会の皆様